



お互いを尊重し 支えあえる共生社会をつくるのは、 私たち一人ひとり

人権とは、人が人間らしく幸せに生きていくための権利で、性別や年齢、障害の有無、国籍などの違いにかかわらず、すべての人が生まれながらに持っている、誰からも侵されることのない基本的な権利です。

相手のことも自分のことも大切にでき、お互いにみとめあい助け合いながら、誰もが自分らしく幸せに暮らせる社会をつくりましょう。そのためには何に気づき、何を知り、何をすることが大事なのか、一人ひとりが自分の心に問いかけ、行動することが大切です。人権についてみんなで考え、行動していきましょう。

「みんなのしあわせのために」

人権問題に対する正しい理解と認識を深め、豊かな人権感覚を築いていくことを目的に作成しています。



活用のポイント

●気づいて

人権マップ・・・・・・・・すべての人が暮らしやすいまちをつくる上で、すぐれているところ、気をつけなければならないところに気づくことが大切です。

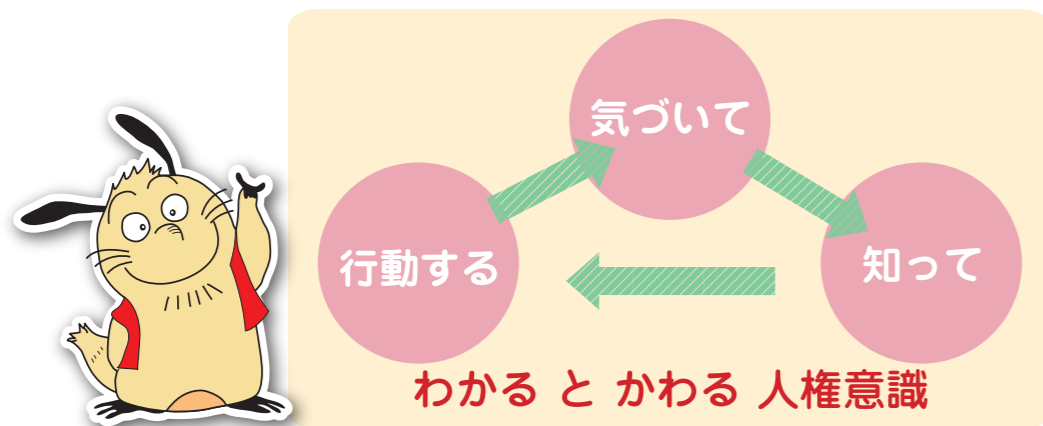
●知って

人権問題の重点分野・・・・女性、子ども、高齢者、LGBTQ+/SOGIE、障害のある人、同和問題、外国人などの分野でそれぞれの現状などを紹介します。
 新たな人権問題・・・・社会の変化によって、これからは新たな人権問題が生まれたり、明らかになったりする可能性があります。さまざまな課題についても考えてみましょう。

●行動する

あなたのくらしをサポートします・・・・それぞれの分野における相談窓口を紹介しています。

大切なのは、一人ひとりの人権を認めるとともに、
 ＊当事者や相手の思いや考え等を尊重し関わろうとする、あなたの「こころ」です。＊



女性



性別による固定観念にとらわれない社会に

Q 日本の国会(衆議院・参議院)における女性議員の割合で、最も近いものはどれでしょう?(2026年2月18日時点)
 ア.約5% イ.約20% ウ.約30% エ.約50%

出典) 衆議院・参議院ホームページ(議員情報)

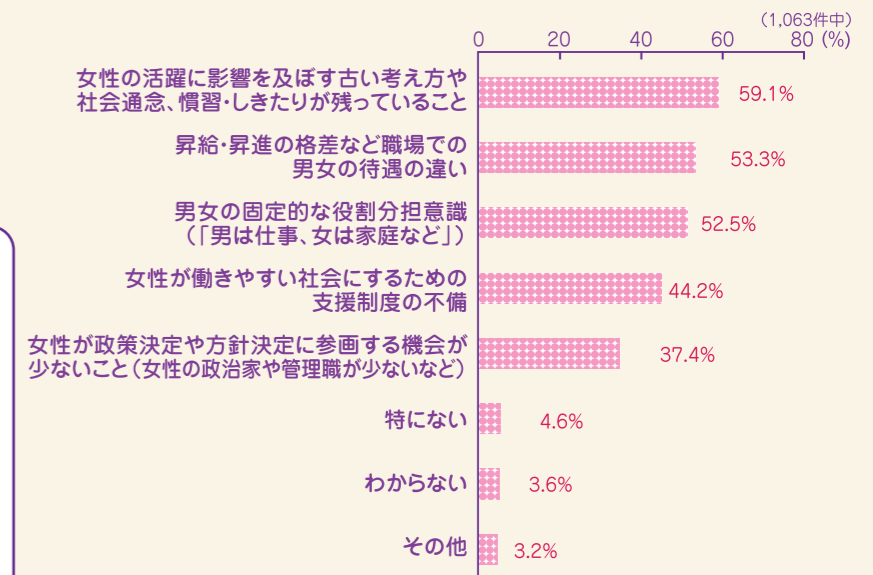
男女の役割分担を考えてみませんか?

右下のグラフは、「女性の人権上、特に問題があると思うこと」という問いに対する回答です。女性に関する人権問題については、「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っていること」が59.1%と6割近くを占め最も高く、次いで「昇給・昇進の格差など職場での男女の待遇の違い」、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭など」)」となっています。



女性の人権上、特に問題があると思うこと

明石市「人権・ジェンダー平等に関する市民意識調査(2025年1月)」より



「ジェンダー」とは、社会的・文化的につくられた性別のことです。今の社会では、男女の固定的な役割分担意識が残っており、個人の希望や能力ではなく、「男だから」「女だから」という無意識の偏見によって生き方や働き方の選択肢や機会が狭められてしまうことがあります。

そこで、一人ひとりの人間が、性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を自分で決められることができる「ジェンダー平等」の実現が必要です。

性別による固定観念にとらわれることなく、女性も男性も個性と能力を十分に発揮し、輝ける社会をつくっていきましょう。

「女の子はやさしく」「男の子は泣いちゃダメ」というような固定観念は幼少期～青年期に土台が形成されると言われています。

そこで明石市では、将来の社会におけるジェンダー平等につなげるために、市立学校の児童生徒を対象としたジェンダー教育・研修を実施しています。

また、女性にかかる過度な負担を軽減し、女性の働きやすさにつなげるために、男性の家事育児参画意識の向上を図るイベントを開催しています。